

作業療法士連盟NEWS

発行：大分県作業療法士連盟

会員数 **635**名(12月現在)

苦難を乗り越え、 明るい未来へ



【CONTENTS】

- ☆議員と新卒作業療法士の意見交換会
- ☆議員と幹事の意見交換会
- ☆選挙の予定
- ☆議員視察
- ☆大分県作業療法士連盟研修会
- ☆こんなところに作業療法士
- ☆選挙について知ろう！選挙クイズ



大分市議会議員と新卒作業療法士の意見交換会 若者の思うこれからの生活と政治



＜両議員と連盟会長・副会長は協会ビルからリモート＞

日時：令和2年8月28日（19:30～21:30）
 議員：藤田 敬治（大分市議会議員）
 衛藤 延洋（大分市議会議員）
 場所：大分県作業療法協会ビル
 対象者：令和2年に大分市内に就職した連盟会員7名
 ※新卒作業療法士は、各自宅より参加

連盟設立後、様々な議員との意見交換会を企画し、実施してきましたが、今回は初めて、議員と“新卒作業療法士”の意見交換会を実施しました。議員のお二人も、“若者の貴重な意見だ”と真剣に耳を傾け、“若者にこそ知って欲しいこと”を話してくださいました。

コロナ渦ということで、新卒作業療法士は、Zoomを利用したりリモート参加となりましたが、予定時間を超過するほど活発な意見交換ができました。

意見交換の内容は、昨今の状況から「新型コロナウイルス」に関してのことが多く、「職場の歓迎会もなく、職場の先輩方との距離がある。」「働いている病院は面会制限があり、患者さんが可哀想。」「リフレッシュに遊びに行くことができない。」など若者から話があり、その一つひとつに両議員は共感し、議員の立場から応えてくれていました。

子どもの将来のことに不安があります・・・

子育てママさん新卒OT

幼稚園の行事が無くなったり、子どもの習い事の体験もできず、将来にも影響してくるなど感じています。



【藤田議員】

保育施設に預けられなくなった場合も、大変ですよ。保育施設にコロナウイルス感染者が出た場合の対策について、十分に対応できるように市に要望を出している所です。



活動量が減って心配です・・・

曾祖父が心配な新卒作業療法士

「私の曾祖父は、コロナの影響で、ゲートボールも中止になり、活動量が少なくなって心配です・・・高齢者が安全に外出できる場が必要だと感じています。」



【藤田議員・衛藤議員】

元気な高齢者の外出先が、無くなってきているんですね。サロンは、現時点では中止していますが、自治会の活動であるグランドゴルフやゲートボールは、再開している所が多くなってきています。確認してみてください。

新型コロナウイルスの風評被害について・・・

【衛藤議員】

コロナ差別は、無くしてかなければならない。特に子どもたちに関しては、夏休み後が一番子供たちの自殺が多いという事実もあるので、対応しなければなりません。その1つとして、現在、小学校・中学校では、完全にオンライン授業ができる対応も準備されて行っています。

【藤田議員】

佐藤市長にお願いして、メッセージを出すようにお願いしています。風評被害を抑える様なメッセージを記者会見のたびに送ってもらっています。

コロナ対策の赤字国債は、 若者に降りかかってきます。

【衛藤議員】

赤字国債は、これからの生産者である若者の皆さんに負担がかかってきます。皆さんに関わる事なので、しっかりと関心を持つことが大切だと思います。若い人たちの声を上げていくことが大切だと思います。選挙はその手段の一つです。



最後に・・・

【藤田議員・衛藤議員】

こういった意見交換を繰り返し、議員がどんなことを考えているのかを若者に知ってもらうことが大切だと思います。議員の日常の取り組みが何よりも大切だと思うので、頑張ります。

選挙権は、当然のものではないと思ってもらって、自分たちのためになりそうな人を選んでください。

大分市議会議員と連盟幹事の意見交換会

コロナ渦における作業療法士を取り巻く現状

議 員：藤田 敬治（大分市議会議員）
 衛藤 延洋（大分市議会議員）
 意見交換者：大分県連盟 幹事9名

連盟幹事との意見交換会を実施しました。その中では、「コロナウイルスによる各施設の影響と、作業療法士の視点から必要と感じていること」「病院・施設の実情」をお伝えしました。

各施設等での新型コロナウイルス(COVID-19)の影響

発達障害者支援において…

- 保育所等訪問事業の件数は減少している。
- 介護サービスの利用を控える方が増加し、家族の介護負担増加が予想される。
- 保護者同士の交流の場が閉鎖されたことで、家族の精神的負担も増加した印象。

地域・高齢者支援において…

- 訪問・通所型サービスともに利用者の減少があった。
- 特に要支援者の引きこもり傾向が強くなり、今後の心身機能の低下が予想される。
- コロナに感染していないという確証が無いことも引きこもりを強めてしまっている。

病院・施設において…

- 受診控えは深刻。骨折患者が2ヶ月間受診控えのために関節拘縮が進んでしまうケースがあった。
- 精神科においては、患者の外出ができずに困っている。
- 施設でコロナ感染者が出た場合、1～2週間、施設を閉める必要があるが、他の利用者・入所者の受け入れ先が無いことが予想され、心配。



作業療法士の視点から必要と感じていること

- 新型コロナウイルスに対しての正しい情報の伝達が必要。
 (誤った知識を持って、誤った対応をしている利用者が多い)
- 特に高齢者に関しては、数年後の介護度に影響を及ぼしかねない状況。長期的な見通しを持って対策をしていくことが大切。
- 自分が感染していないという確証があれば、外出機会は増える。検査数を多くする必要があるのでないか。



<リモート画面の様子>

藤田 敬治, 衛藤 延洋

(大分市議会議員) から…

- 学童保育の現場はよく知っているが、指導員は医療のプロではない。コロナの影響も受け、とても大変な状況があった。指導員と学校の教員との連携の充実に加え、作業療法士のような専門家が入ってもらえると良い方向には進んでいくと思う。
- 経済を回し、かつ感染を抑えるためには、検査数を増やし、感染した人を保護していかなければならない。検査をもっと様々な医療機関で行える必要があると思う。

なぜ、作業療法士が政治の話をするのか？

私たち作業療法士の給料や待遇、職域(働く場所)、これらのことの全てが“制度”で定められています。

その制度は、全て“政治”で決まると言っても過言ではありません。

<対象者・家族を取り巻く支援>



私たちが対象者・ご家族を支援する時、出来る範囲には限界があります。

“公的な支援制度”を駆使していかなくてはなりません。公的な支援制度も、全て“政治”で決まると言っても良いでしょう。

現場の立場から、『どんな制度があるといいかな?』と考えることは重要です。

議員視察

作業療法士が働いている先進的な展開を行っている現場を議員に視察して頂きました。

【場所】

- 複合スペース marble
こどもデイサービス夢色
- 株式会社ライフリー
デイサービスセンター楽

【内容】

- ・発達障害に対する支援の種類や課題について
- ・発達障害児向けの学習塾の必要性について
- ・大分県の高齢者の現状と生活行為向上訓練の必要性について

○発達障害専門学習塾『複合スペースmarble』

複合スペースmarbleは、発達に障害や遅れを持つお子様への指導に特化した学習塾です。「福祉×教育」、作業療法士と塾講師が、一人ひとりの個性と特性に応じた方法で学習をサポートしています。

marbleの特徴や実際に取り組んでいることなどを作業療法士の津田氏より、議員に説明して頂きました。



<複合スペース marble にて視察する土居議員と藤田議員>

撮影日：令和元年7月1日

視察した議員からのコメント

『作業療法士の皆様方との連携を図っていくことの
必要性を強く感じました！』

大分市議会議員 藤田 敬治 氏

大分県作業療法士連盟さんのご協力をいただき、大分市内の「こどもデイサービス夢色」と「複合スペースmarble」の2施設を視察させて頂きました。

私にとって、放課後等デイサービスや発達障害専門学習塾の見学は、初めての経験でありましたので、作業療法士の皆様方が障がい児への日常生活に必要な能力の養成や、円滑なコミュニケーションを養うトレーニングや機能訓練を行ったり、多様な特性を理解し、一人ひとりの特性に合わせた勉強方法でサポートしている現場を見せていただき、大変感銘を受けたところです。

私も戸次校区児童育成クラブの会長を引き受けて19年経ちますが、最近は数はすくないのですが、発達障がい児を受け入れるケースも出てきており、その支援体制のあり方について、クラブ指導員とともに、対応策を考えているところです。

今後、各児童育成クラブとしては、適切な事業運営を行うためにも、作業療法士の皆様方との連携を図っていくことの必要性を、強く感じた次第ですのでご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

<遊園地みたいな学習塾>

marbleは、遊園地みたいにワクワクとドキドキが詰まった学習塾です。発達に障害や遅れがある子どもの学力や社会性が伸びにくくなる原因として、個性や特性に合っていない学習方法や環境が大きいと言われています。欠点を直すことが、教育の一つと思われがちですが、強みに焦点をあて承認すると、強みはどんどん伸びていきます。そうすると、欠点だと思っていたことも気にならなくなったり、カバーされていきます。そして「知らなかったことを知るドキドキ」や「出来なかったことが出来るワクワク」は学習意欲を加速させます。何より「できた！」「わかった！」と口にする子どもは、まるで遊園地に行ってきたかの様な笑顔になります。

子ども達の“できた”のために、marbleでは医療・福祉の専門家である作業療法士と教育の専門家である塾講師が、子ども1人ひとりの個性と特性を正しく理解し、適切に対応します。「勉強がわからない」という子どもには、苦手とするポイントを細かく分解し、理解できるようサポートします。その際、プリントやタブレットなどの学習教材に加え、発達段階に合わせた脳トレと運動のプログラムにより学習の基礎を築きます。また、補助ツール(文房具)の作製や、教室内外の音や光、席順などに配慮することで、最適な学習環境(道具・空間)を提供します。



<視察する土居議員と藤田議員> 撮影日：令和元年7月1日

○株式会社ライフリー『デイサービス楽』

デイサービス楽は、作業療法士である佐藤孝臣氏が開業し、病気のあとの後遺症や高齢者の筋力の低下により、さまざまな生活障害のある方へ一日も早い社会参加を目指すために「できないことは、できるように。できることは、もっとできるように。」日々の生活向上を目指し、夢の実現ができる社会参加目標とした自立支援を行なっています。

1人で、できることを目標に

当日は、佐藤孝臣氏より説明をしていただき、実際のリハビリ場面の見学を行いました。デイサービス楽では、利用者さんの日常生活動作をチェックし、『頑張れば1人でできること』『体を鍛えれば1人でできること』『道具を使えば1人でできること』に具体的に分け、1人でできる様にアドバイスや練習をしていくことを説明して頂きました。また、施設を見学しながら、日常生活には多くのバリア（障害）があるため、あえて施設にバリアを設置していることや、さまざまな環境で動作が行えるように「限定的自立」ではなく『普遍的自立』を目指していることの説明を受けました。ご本人と相談し「やってみたいこと」や「できるようになること」を決めて行う訓練場面を見学しました。議員も感銘を受けていました。



＜デイサービス楽にて佐藤代表より説明を受ける森議員＞

撮影日：令和元年7月1日

**『お世話型でなく自立支援型の
デイサービスの重要性を強く感じました！』**

大分県議会議員 森 誠一 氏

作業療法の発想で行われる地域支援の実践を見させていただきました。「できないことは、できるように。できることは、もっとできるように。」日々の生活向上を目指し、利用者の社会参加目標とした自立支援は、これからの地域社会に非常に重要と感じました。

今後も、地域共生社会の実現に向け意見交換させていただきます。



＜ホームページより <http://www.lifely.co.jp/tokuchou/> ＞

楽では研修会も実施



デイサービス楽では、楽小屋と題し、楽主催の研修会を開催しています。

さらに、楽小屋の中で実務経験5年未満のセラピストを対象にした『楽学道場』やセラピストに加えケアマネや福祉事業者を対象にした『楽学塾』を行っています。年間20を超える研修会を開催。普段なかなか聴けない講師や明日から業務で生かせる研修会を多く行っており、多くの医療・福祉の職種の方々が、参加しています。



健康な身体で人生を楽しむ！

＜パンフレットより一部抜粋＞



○大分県作業療法士連盟研修会

『討議！これからの地域支援と作業療法』

～議員と共に考える就労移行・学習支援・高齢者支援～

日時：令和2年2月16日(日)9:30～11:45(受付9:10～)

場所：コンパルホール 400会議室

講師：二神 雅一(株式会社創心會 代表取締役、日本作業療法士連盟 副会長)

コメンテーター

大分県議会議員：土居 昌弘 氏(大分県議会副議長 福祉保健生活環境委員会)

森 誠一 氏(福祉保健生活環境委員長)

大分市議会議員：藤田 敬治 氏(建設常任委員会)

衛藤 延洋 氏(総務常任委員会・統合交通対策特別委員会)

情報提供者

佐藤 暁 (大分県作業療法協会理事：大分市の取り組み～行政と連携した高齢者支援)

津田 憲吾 (作業療法士：発達障害児向けの塾『marble』の実践を通じて)



<講師の二神氏>

創心會代表の二神氏を招いて就労・発達・高齢者支援の3テーマで研修会を開催しました。各分野を縦割りでは考えず、地域の中でどのように援助を移行していくか、参考になる活動を紹介していただきました。アンケートの回答では「障害があっても支援の仕方一つで働けることができると感じた」「市民公開講座で発達支援を一般の方にもPRしてはどうか」「地域を支える仕組みを作業療法士として再構築したい」といった意見をいただき、実りある研修会となりました。70名を超える作業療法士に参加して頂き、大盛況でした！



<大分市の取り組みを報告する佐藤理事>

研修会の後は各議員と意見交換会を行いました。作業療法士が活躍できる場がもっと増えることを期待されるような意見をいただき、今後の連盟活動に生かしていきたいと思っております。



<学習塾での実践を報告する津田氏>

『作業療法士の皆さんと共に頑張ります！』

大分県議会議員 土居 昌弘 氏

<土居議員ホームページより引用>

「地域まるごと作業療法する」と熱く語るのは、岡山県の(株)創心會 二神社長。

素晴らしい！本日は、日本・大分県作業療法士連盟共催研修会「討議！これからの地域支援と作業療法」。

作業療法士の皆さんのなかに、森県議、吉竹竹田市議、藤田大分市議、衛藤大分市議、富松佐伯市議と私。障害のある方々の就労移行や学習支援、高齢者の支援などについて討議しました。作業療法士の皆さんと、ともに頑張ります！



<懇親会の様子>

こんなところに作業療法士

○人生を豊かに人と社会を結ぶ リハジョイント大分



<ホームページより <https://www.rehajoint.com/>>

訪問型自費リハビリ事業(医療・介護保険外=自費)

訪問型自費リハビリ事業とは、医療保険、介護保険を利用せずリハビリを提供するサービスを展開しています。

リハジョイント大分では、自費リハビリの強みを生かし、時間や環境の制約を取り除き、お客様と真摯に向き合い、寄り添ったサービスを提供し、より良い状態となるようサポートしています。

住所 : 〒870-0131 大分県大分市皆春286-10
 電話/FAX : 097-522-2657 (訪問へ出ているため、携帯電話の方が繋がります。)
 携帯電話 : 080-3953-0578
 営業日時 : 月～土 9:00～21:00 ※日曜日定休

氏名:真珠 宗彦

(またま むねひこ)

1987年5月17日生まれ

保有資格:作業療法士免許

AMPS認定評価者

ESI認定評価者

大分リハビリテーション専門学校卒

初めて、入職した医療機関では”地域リハビリテーションの基盤”が築かれており、現場では常に、“在宅生活を想定したリハビリテーション”の遂行が求められました。

クライアントが望めば、自宅、職場、自動車販売店などへ出向き、環境調整、アドバイス、会議に出席したりしました。結果として復職、就職、自動車の運転などクライアントの作業ができるようになりました。クライアントに寄り添うことでクライアントのできる作業は拡がり(生活自立度向上や生活範囲の拡大)、人生がより豊かになりました。

このような経験から、もっと多くの方の人生を豊かにしたいと思うようになりました。

近年、リハビリテーションの需要が高まる中、医療保険(主に病院)・介護保険の分野においては、ある一定水準のリハビリサービスが保障されています。しかし、制約が増え、外来リハビリの廃止や集団リハビリへの傾倒が著しく、本来のリハビリテーションが難しくなってきました。年々、クライアントの生活、人生に密着し粘り強く共に歩むようなリハビリの機会は縮小しています。

そこで私は”リハジョイント大分”を立ち上げました。

“リハジョイント大分”は訪問型自費リハビリ事業を主としており、他にも、通所系サービス支援事業、訪問美容事業、セミナー事業を手掛けています。

氏名:浅利 綾祐(あさり りょうすけ)

1983年 8月 31日生まれ

保有資格:作業療法士免許

体育教員免許

日商簿記3級

藤華医療技術専門学校卒



○アサリスポーツ

私たちは、スポーツを愛し、充実した
 ヒューマンライフを応援します。



<ホームページより <http://www.asari-sp.com/>>

弊社は、1954年に大分県大分市にて創業し、地元の人たちに支えられて、今日に至っております。

当社は「スポーツを通じて豊かな社会の創造」を経営理念としてスポーツ用品の販売に携わってまいりました。

「応援します、スポーツマン」をキャッチフレーズに私たちは、地域スポーツの発展に貢献したいと考えています。これからもお客様ニーズにお応えできる商品の品揃えと、気軽にお声を掛けいただけるスタッフでスポーツを愛する人と、地域スポーツを応援し続けてまいります。

【有限会社アサリスポーツ】

TEL : 097-527-3046 / FAX : 097-527-3451

メール : asari@asari-sp.com

住所 : 〒870-0105 大分市西鶴崎3丁目3-25

(鶴崎駅すぐそば)

営業時間: 平日 11:00～20:00、日・祝 10:00～19:00

定休日: 毎週火曜日

私は、作業療法の専門学校に通う前、体育科教員の職務経験があり、スポーツ指導にも参画していました。作業療法士として、4年間病院に勤務し、医療点数の中で行うリハビリだけでなく、「スポーツを通じ、人が成長できる関わりが出来ないか」という思いがありました。

スポーツを行う目的は、体力と競技力向上だけでなく、周囲との関りを通じて他者からの承認や賞賛が得られることで生きがいを感じ、フラストレーションの解消や人格形成に大きく影響を与えると思っているからです。

作業療法士として病棟での各種疾患の臨床を経験し、リハビリ方法や効果について学べたことで、ケガの予防方法や道具の選定、トレーニングの説明に活かしています。

アサリスポーツ杯として、ミニバスケットボールや少年野球の大会を行っていますが、今後は障がい者スポーツ、ニュースポーツなどを通じて、もっと多くの人にスポーツの良さを感じていただきたいと思っています。私が、スポーツを通じ、自分自身を認めてもらったことで多くのことを経験し、学べたことが沢山あります。スポーツを目的として、また、手段として人と人のつながりや関わりを広げたいと考えています。

《2021年：予定されている市町村選挙》

(当連盟と関連ある候補予定者：令和2年12月現在)

- 令和3年2月：白杵市長選挙
- 3月：大分市議会議員選挙
- 4月：佐伯市長・市議会議員選挙
宇佐市長選挙
竹田市長・市議会議員選挙
豊後大野市長・市議会議員選挙
- 10月：衆議員議員総選挙
由布市長・市議会議員選挙



《大分市》平成29年
【藤田 敬治】



《大分市》平成29年
【衛藤 延洋】



《大分市》
【岩川 義枝】



《豊後大野市》
【佐藤 昭生】



《竹田市》(平成29年)
【吉竹 悟】



《由布市》平成29年
【加藤 幸雄】



《佐伯市》平成29年
【富松 万平】

【選挙について知ろう！ 選挙クイズ！】

【問題1】投票用紙には、ある秘密があります。それは次のうちどれでしょうか？

- A お札のように「透かし」がある
- B 折り曲げても時間が経つと自然に開く
- C 束ねやすいように自然に重なる



【問題2】投票に行かないと罰金を取られる国はどこでしょうか？

- A オーストラリア
- B 韓国
- C そんな国はない



Quiz

【問題3】平成 25 年 7 月の参議院議員通常選挙から、インターネットを利用した選挙運動ができるようになりましたが、次のうち、有権者ができることはどれでしょうか？

- A インターネットを使って投票する
- B 友人に候補者の選挙運動用ビラ、ポスターを添付した電子メールを送信する
- C ホームページやフェイスブックに特定の候補者への投票を呼びかける 書き込みをする

<解答>

参考：公益社団法人 明るい選挙推進協会 選挙クイズ

【問題1】 B

開票のときに、折り曲げられた投票用紙を1枚ずつ開くのは大変ですよ。そこで、投票用紙には特殊な加工がしてあって、投票箱に折り曲げて入れても、中で自然に開くようになっています。開票結果を素早く、正確に有権者の皆さんにお知らせするための「ちょっとした工夫」が凝らされているのです。

【問題2】 A

オーストラリアでは正当な理由がないのに投票に行かなかった人には、20～50豪ドル(日本円で2,000円～5,000円程度)の罰金が科せられます。日本では、投票に行かなくても(棄権しても)罰則はありませんが、棄権することは、「自分が住む地域や国の課題に対して自分の意思を表さない=責任を放棄すること」と同じですよ！

【問題3】 C

有権者は、「ウェブサイト等(ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック、動画共有サービス等)」を利用して候補者や政党等を支持・応援すること(選挙運動)ができますが、「電子メール」を利用した選挙運動をすることは禁止されているため、Bのようなことはできません。また、候補者から送られてきた選挙運動メールを他の人に「転送する」こともできません。※ インターネットを利用した「選挙運動」ができるようにはなりましたが、インターネットで投票ができるようになったわけではありません。



《大分県作業療法士連盟事務局》

住所：〒870-0124 大分市大字毛井553-1 (デイサービスセンター案内)
TEL:097-529-9025 FAX:097-520-1765

その他の応援活動や詳細はホームページをご覧ください

<http://www.oita-otrenmei.com/>

